

『太陽光発電システム設置住宅』への住宅ローン金利の 優遇制度の導入について

日本生命保険相互会社（社長 岡本罔衛）は、平成20年9月18日より、「太陽光発電システム設置住宅」への住宅ローン金利の優遇制度を導入いたします。

当社では、資産運用部門におけるCSRへの取組みの一環として、この優遇制度を通じ、『太陽光発電システム（※）設置住宅』の普及を支援してまいります。

（※）当制度上の太陽光発電システムとは、「太陽光により発電した電気を低圧配電線と逆潮流有りで連系するもの（自家使用を超える余剰分については電力会社に売電できるもの）で、住宅の屋根等に設置するもの」とします。

なお、このような取組みは、生命保険会社として初めてです。

<優遇制度の概要>

対象商品	ニッセイ住宅ローン（住宅の新築・購入資金）
ご利用いただける方	太陽光発電システムが設置された住宅を新築・購入される個人のお客様
ご融資金額	原則 5,000万円以内
ご融資利率	ニッセイ住宅ローン固定金利型において、借入当初10年間、当社所定の利率から年0.1%優遇

（注）お申込にあたり、一般のご融資と同様の当社所定の審査を行いますので、審査結果によりましては、ご希望に添えない場合もございます。

日本生命は、今後とも、生命保険会社としての社会的責任をより一層果たせるよう、幅広い分野においてCSRの取組みを推進してまいります。

<ご参考>

■日本生命の資産運用部門におけるCSRへの取り組み

- ・ 日本生命は、資産運用においても、生命保険事業の特性に鑑み、収益性や安定性に加えて、公共性にも留意し、全国の企業・個人のお客様向け融資、全国のテナントビルへの投資等にこれまでも積極的に取り組んでまいりました。
- ・ 平成19年度には、「チームマイナス6%」への参加、テナントビルのリニューアルを通じたCO₂削減、個人・中小企業のお客様向け環境配慮型融資金利の優遇制度導入、ニッセイアセットマネジメント株式会社（以下「ニッセイアセット」）設定のSRI（社会的責任投資）ファンド1本への50億円の投資、といった取り組みを進めました。
- ・ また、平成20年度には、ニッセイアセット設定のSRIファンド3本へ合計100億円を投資し、CSRへの取り組みを推進しています。

	項目	実施内容
融資（※）	環境配慮型融資金利の優遇制度の導入	平成19年10月より、省エネルギー・耐震性に優れた住宅を新築・購入される個人のお客様への住宅ローン及び、ISO14001・エコアクション21認証を取得している中小企業のお客様への融資について金利優遇制度を導入
不動産	テナントビルのリニューアルによる排出CO ₂ 削減計画	テナントビル152棟について、環境に配慮したリニューアルにより、排出するCO ₂ を15%削減することを目指す（平成24年度まで）
有価証券	SRIファンドへの投資	ニッセイアセットが設定する以下4本のSRIファンドへ合計150億円を投資 ・ニッセイ健康応援ファンド（50億円、H19/10） ・ニッセイ環境応援ファンド（30億円、H20/6） ・ニッセイサステナビリティ高金利債券ファンド（40億円、H20/6） ・ニッセイグリーンG-REITファンド（30億円、H20/6） ＊（）内は投資金額、投資時期

※日本生命の融資について

- 当社の融資は、長期にわたる生命保険契約に基づく、公共性の強い資金としての特性を有しております。当社では、こうした資金を広く社会に還元すべく、全国の個人や企業のお客様との融資取引に長年取り組んでおります。
- 現在、個人向けの住宅ローンは、全国約6万3,000人のお客様に対して約9,000億円の残高を有しており、マイホーム取得等のお手伝いをさせていただいております。また、企業融資は、約2,500のお取引先に約6兆3,000億円の残高を有しております。このうち、全国各地の中小企業様向けのご融資が、お取引先数で約1,100社（約45%）、残高で約8,000億円（約13%）となっており、地域産業の発展のお役に立つよう努力しております。

以上